



会長あいさつ

山形県在宅保健活動者連絡協議会(いつわ会)
会長 水上 由美子

会員の皆様、お元気でお過ごしでしょうか？
令和5年7月11日全体研修会を開催し、Webでの配信を行いながら多数の方にお集まりいただくことが出来ました。詳細はこの号でお知らせいたしますが、笑顔であふれ、元気の出る研修会にすることが出来ました。御協力いただきました国保連合会、そして運営に御活躍いただきました役員の皆様に感謝申し上げます。

さて、市町村においては、令和2年度から開始されている「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」について、昨年までで15市町が取り組みを開始しており、今年度は11市町村が開始する予定で、全体の7割以上で取り組むことになるとのことです。

そのような中、国保連合会が、各保険者に対して次年度以降の参考にするため、毎年実施しているアンケート調査で、いつわ会に協力してほしい事業は何かを尋ねたところ、「一体的実施におけるハイリスクアプローチ及びポピュレーションアプローチへの協力」、「特定保健指導、健康相談」、「乳幼児健診やコロナワクチン接種で人手が不足した場合の対応」などといった回答が寄せられていたそうです。改めて会員の皆様の御協力をお願いいたします。

いつわ会の役員会では、会員の皆様が地域で御活躍いただけることを願い、全体研修会に引き続き各地区でブロック研修会を計画しております。専門職で長年培ってきたスキルを活かしていただくために是非研修会に御参加いただき、交流を深めながらお楽しみいただければと思います。

令和5年度事業計画

事業名	日時
役員会	第1回 令和5年 4月13日 第2回 令和5年 6月14日 第3回 令和5年11月
健康まつり等への支援	随時
救護	随時
高齢者地域サロン	随時
会報発行	2回発行予定(8月、3月)
いつわ会研修会	令和5年7月11日
地区ブロック研修会	6ページ参照
東北地方在宅保健師等会連絡会議(青森県開催)	令和5年12月7~8日
都道府県在宅保健師等会全国連絡会(Web会議)	令和6年1月下旬
活動状況アンケート調査	令和6年3月

令和5年度いつわ会役員

(任期 令和5年4月1日~令和7年3月31日)



前列左から 佐藤(さ)幹事 山田幹事 水上会長
鈴木副会長 小松幹事 竹田幹事
後列左から 今野(さ)幹事 吉田幹事
今野(和)幹事 佐藤(泉)幹事
高橋幹事 白田常任幹事

(撮影日:令和5年度 第2回いつわ会役員会)

令和5年度 いつわ会研修会

日時 令和5年7月11日(火)

場所 ホテルメトロポリタン山形

今年度の「いつわ会研修会」は、50人(会員45人・会員以外5人)の参加を得て開催されました。そのうち21人はWebで参加しました。



開会の挨拶をする水上会長と国保連合会の高橋事業課長

研修会日程

13:00 開会
あいさつ

13:10 情報提供
「いつわ会活動について」
説明者
山形県国民健康保険団体連合会
事業課保健事業係
保健事業推進専門員 白田 裕子氏
(いつわ会常任幹事)

13:30 講演
「最近笑っていますか？」
～毎日をイキイキと過ごすために～
講師 臨床人間学研究会附属
あさか台相談室
室長 藤本 裕明氏

15:00 閉会

研修会の内容から

講演

「最近笑っていますか？」
～毎日をイキイキと過ごすために～



臨床人間学研究会附属
あさか台相談室
室長 藤本 裕明氏

【講演 概要】

- 「こころ」と「からだ」の話
- こころのSOSはどう表れるか
- 高齢者の場合 喪失と孤立がキーワード
- イキイキ過ごすコツ
 - ・生活に必要な4つの要素
①仕事(充実感)②睡眠③遊び(気分転換になる行動)④休息
 - ・イイカゲンの勧め
 - ・笑いが一番
- 参加者からの質疑応答

参加者アンケートから

- ・口角を上げるだけで脳が笑いと勘違いするということを知り、口腔講話にしたいと思った。
- ・とても奥深い話で日頃の心の持ちようを学ぶことができました。本当に日頃のストレスが取れた気がします。また、質問の時間は良かったです。先生の一言一言から心に安らぎをもらった気がします。
- ・程よい加減で生きること、真正面から受け止めずうまく流せるようになることの大切さを学びました。
- ・笑顔とイイカゲン・テキトウ 自分を大切にすることがまず一番ですね。
- ・イキイキと過ごすために必要な要素のバランスを保ちながら生活していきたいと感じた。また、対象者の健康について考える際に持つ視点として覚えておきたい。
- ・自分の今のストレス度のチェックが出来て良かった。
- ・私と同じ悩みを持つ質問に同朋を感じ、もやもやが解消できすっきりしました。

情報提供

「いつわ会活動について」



山形県国民健康保険団体連合会
事業課保健事業係
保健事業推進専門員
白田 裕子氏

【情報提供 概要】

- いつわ会とは
- いつわ会の主な活動について
- 最近の保健事業の動き
- 今後の活動について

参加者アンケートから

- ・最近の動向が分かりやすく説明があつて良かった。
- ・特定健診受診率が全国一だなんて!とても感激。先輩の方々にも知らせたい。
- ・会報を拝見したことはあつたが、担当から組織・活動などを聞くことで具体的に理解できて良かった。
- ・市町村・多職種間での情報交換を密に行っていることが印象的だった。5つの職種が集い、県全体の健康を守る存在として活動が出来るのがいつわ会の強みだと感じた。
- ・会員の高齢化、新規会員の入会減少が課題として挙げられている。会員各自がアイデアを出し合つて取り組んではいかがでしょうか。例えば同級生・趣味やサークル仲間などへの働きかけなど。年会費もいらさないし、新たな情報・交流の機会が得られるので入会のメリットは大いにあります。会員の高齢化は退職後の入会ですから当然だと思います。人生100年時代です。健康で働けるうちは年齢を気にせず参加したいものです。



■ いつわ会活動への要望、近況等

看護師 川村 幸子

コロナ禍ではありますが、国の規制緩和が進みもとの生活に戻ることを願っております。

保健師 渡部 京子

とても良い組織と思っています。現場主義でまだまだ働き場があることはとても良い。しかし、自分のための豊かな人生も人の為ばかりでなく過ごさなければとよくこの頃は思う。家で98歳、87歳の義父母の「アクタイ」(なぜそうなるかわからない)をストレスにしながら80歳で自分が暮らすとは思いませんでした。

保健師 高山 喜志子

昨年ブロック研修の後、冬期間定例の研修会を開けないかと考えてました。車で1か所に集まり1~2時間ノルデック歩行を会議室や体育館などで実施してみる!という構想をしたのですが、任意の研修なので連絡とか国保ブロックとして実施できればクリアできるかと考えたけど実施に至りませんでした。ブロックで実施できるかなど役員会でも話できたら!『リハビリ』でなく『ハビリテーション』が必要な方向き。

保健師 大竹 美樹

昨年の全体研修会・ブロック研修会に参加させていただきました。とても良い内容でためになりました。ありがとうございました。研修会には参加したいと思っています。

保健師 山田 晴美

定年退職してまもなく1年。週の半分位はコロナ業務の応援を続けてまいりましたが、それもこの3月で終了です。コロナ対応に忙殺されていた現役の頃は早く(ずっと)休みたかったのに今となっては少々寂しく新たな仕事をやりたくなってきました。先日の新聞の投稿欄に「教養(今日の用事)と教育(今日行く所)が長生きの秘訣」との意見が載っていましたが「さもありません」と思うこの頃です。

看護師 奥村 秋

加齢と共に学習・研修意欲が確実に減退していると感じています。コロナが拍車をかけたと思っています。

助産師 渡部 泰恵子

コロナ禍ではありましたが、研修会へのWebでの参加で刺激と元気をもらいました。退職後も、新型コロナウイルスワクチン接種業務や乳幼児健診での活動に声をかけていただき資格のありがたさを痛感しました。自分自身の健康維持に努めながら皆様とお会いできる日を待ち望んでいます。

管理栄養士 小林 恵美

これまで経験したことのない出来事が続いた1年でした。体調もすぐれずの日々ですが焦らず無理せず過ごそうと思っています。いつわ会活動にも参加できずにいますが、ブロック研修会は楽しみにしています。中止になっていた料理教室も持ち帰り中心(会食なし)で再開されるようになり嬉しく思っております。料理を作る楽しさもあります。直接会って会話や交流できる喜びが、集まった皆さんからあふれていてとても楽しいひとときとなっているようです。

保健師 原田 真弓

IHEATで保健所支援に参加し、コロナ禍で疲弊した現場を少しでもサポートできた事を嬉しく思います。研修でスキルアップ等バックアップしていただき不安なく従事出来ました。ブロック研修は、各自が内容に応じて会場選択できるようにしてはどうでしょうか。テーマ別の内容を4会場(ブロック)で行うためには事前に全体調整の事務が生じますがテーマ別4大区分にして各ブロックで輪番担当にするのも一考です。

保健師 佐藤 さえ子

定年退職後も市町村で働く方が大半の現状ですね。当然だろうと思っています。

看護師 会田 直美

一昨年より新型コロナウイルス感染症に関する保健所支援をさせていただきました。たいへん勉強になりました。今後も何かお役に立てることがあれば協力させていただきたいと思っております。

看護師 櫻井 富士子

日頃何かとお世話又御指導くださり心より感謝申し上げます。

看護師 志済 美樹

就業中から活動できる場の情報提供をお願いしたいです。

保健師 後藤 順子

定年退職し、ほっと一息と思っておりましたが、難病相談支援センター等で働いています。なかなか時間がなくていつわ会に参加できませんが、来年度からは研修会には参加しようと思っています。

保健師 高橋 照美

コロナ禍の中で大変な時期で集まることが困難で事務局も大変だったことは予測できます。そのような中で出来ることを精一杯やっていたことに感謝いたします。

管理栄養士 佐藤 泉

いつわ会の継続した活動に対し敬意を表するとともに感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症がようやく2類感染症から5類感染症となる情報で心のどこかでほっとしております。ほんとうに長期にわたり苦戦の日々でしたね。今年度役員として参加させていただけるのを楽しみにワクワクした気持ちで春を待っております。皆さんで楽しく健康的な活動を展開いたしましょう。よろしくお願いいたします。

看護師 鈴木 京子

コロナ禍の中で思うように集合しての研修等はできなかったのですが、そういう時こそいつわ会に求められている協力支援が大切だと気づかされました。他国で90歳でも現役で仕事をしている記事を見たことがあります。できるだけ長くいつわ会員として活動し社会に役に立ちたいと望んでおります。

助産師 阿部 千句美

病院介護施設においてスタッフ不足が続いており運営が徐々に厳しくなっています。私のような高齢者であっても必要とされるのはいいことなのか悪いことなのか。お役に立てるのであれば引き続き協力をしていきたいと思っている今日この頃です。

保健師 佐藤 節子

なかなか積極的な活動に結び付かず役員の皆様も御苦勞されていることと思います。次年度は少し緩和されるのではと考えます。参加される方の意識がしっかりしていればそんなに心配ないことと思います。専門職ですから。

保健師 長南 智美

不安な思いで引き受けた役員、コロナ感染症により制限や自粛はあったものとても楽しい経験でした。「当たり前」のありがたさや「人間力」のすばらしさを実感した2年間でした。本当にお世話になりました。心から感謝いたします。ありがとうございました。

匿名

久し振りに全体研修会に参加できたこと良かった。内容も興味のあることだったので仕事にも役立つ。ブロック研修会参加はできませんでしたがDVDを頂いたので自分自身でもまた仕事でも参考にできて役立ち助かりました。いつもタイムリーな企画をありがとうございます。

令和4年度「いつわ会会員活動アンケート」集計結果 (抜粋)

調査期間/令和5年2月から3月 配布数/229 回答数/143 回収率/62.4%

1 令和4年度に行った保健活動内容(複数回答)

市町村保健事業関係 4,748回/年 116人

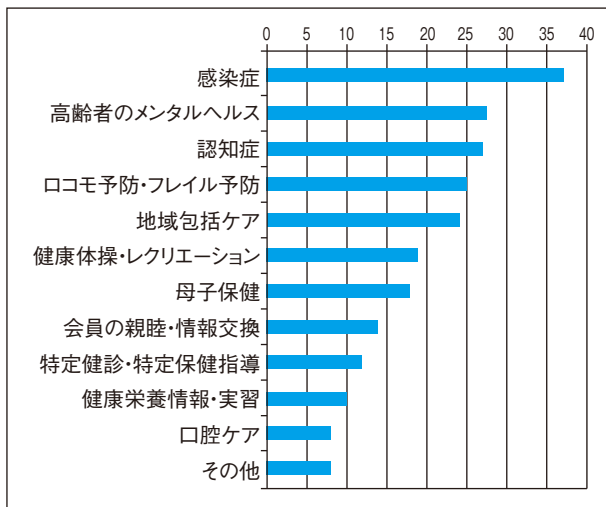
- 1位 新型コロナウイルス感染症対策 (27人)
- 2位 乳幼児健診・母子歯科事業など (26人)
- 3位 介護保険関係 (20人)

その他(地域・施設) 2,281回/年 81人

- 1位 地域での支援・ボランティア (40人)
- 2位 民生委員等地域の委員 (18人)
- 3位 事業所における保健指導等 (17人)

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、ワクチン接種や保健所事業への協力が増え保健事業関係の活動が昨年より増加しました。また、地域や施設でのボランティア活動等も増加しております。

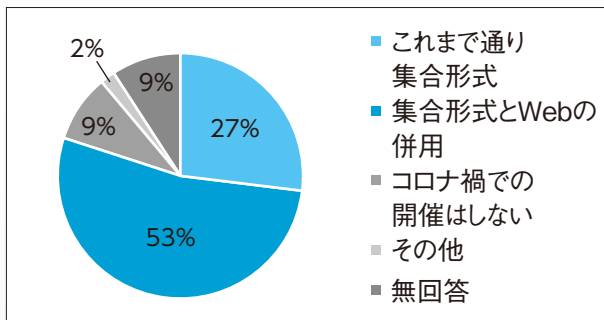
2 全体研修会の希望内容について(複数回答)



※ 「感染症に関すること」の希望が一番多く、次に「高齢者のメンタルヘルス」「認知症」「ロコモ予防・フレイル予防」と続いています。

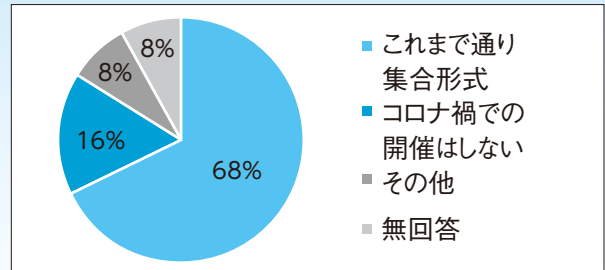
3 全体研修会の参加形式

※約8割の方が開催希望しています。



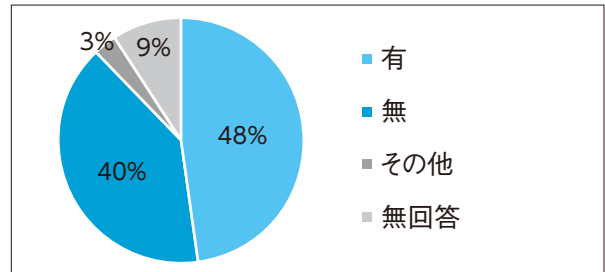
4 ブロック研修会の参加形式

※約7割の方が開催希望しています。



5 Zoomを使用できる環境

※約5割の方が使用できる環境にあります。

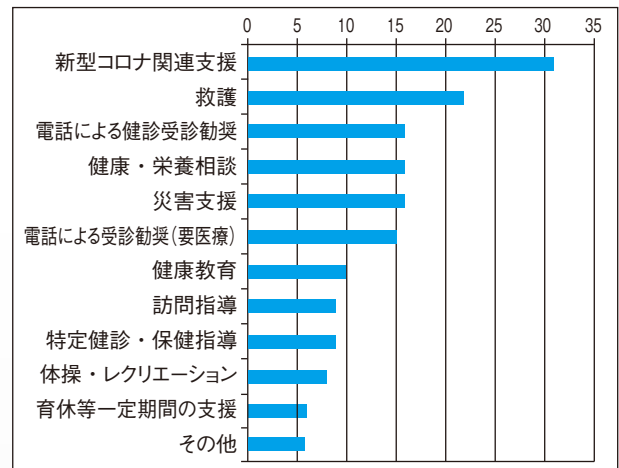


6 市町村等へ支援協力について

回答者143名のうち、支援協力できる72名

- 1位 新型コロナ関連 (31人)
- 2位 救護 (22人)
- 3位 電話による受診勧奨 (16人)
- 健康・栄養相談 (16人)
- 災害支援 (16人)

支援協力できると答えた72名の項目内訳(複数回答)のグラフです。



※ 昨年より支援協力できると答えた方が増加しました。支援協力の項目では、「新型コロナ関連支援」が最も多く、次に救護となっており、災害支援が微増しています。

会員の親睦と交流を
図りましょう

令和5年度ブロック研修会予告

★ 村山ブロック

日時 9月8日(金) 13時～15時
場所 山形県国保会館(寒河江市)
内容 ○健康運動の講話と実技
 「がんばらないセルフコンディショニング
 ～一生涯元気に動くために～」
 講師 山形済生病院健康増進センターめぐみ
 健康運動指導士 遠藤 美子 氏
 ○講話「最近の感染症の動向と対応(仮題)」
 講師 村山保健所
 地域保健主幹 伊藤 京子 氏

★ 最上ブロック

日時 9月12日(火) 10時～12時
場所 ゆめりあ(新庄市)
内容 ○ロコモ予防の講話と実技
 「ロコモを防いで延ばそう健康寿命」
 講師 公立置賜総合病院リハビリテーション部
 技師長(作業療法士) 井上 健 氏
 ○情報交換「いつわ会活動について」

★ 置賜ブロック

日時 11月16日(木) 10時～12時
場所 南陽市赤湯公民館(えくぼプラザ)
内容 ○講演「認知症に気づくポイント～認知症になっ
 ても地域で暮らすために～」
 講師 公立高島病院
 認知症認定看護師 我孫子 久美 氏
 ○情報交換「いつわ会活動について」

★ 庄内ブロック

日時 10月11日(水) 13時30分～15時
場所 なの花ホール(三川町)
内容 ○口腔ケアに関する講話
 講師 鶴岡地区歯科医師会
 会長 毛呂 光一 氏
 ○情報交換「いつわ会活動について」

計画が決定次第、地区毎、詳しく通知いたします。
**他ブロックへの参加も可能です。御希望の方は、
 事務局まで申し込み下さい。(連絡先下記参照)**

会員の状況

会員数 234名
 (令和5年7月1日現在)

令和5年11名の方が
 新たに入会されました。
 皆様どうぞ
 よろしく願います。

職種・地区別

	村山	最上	置賜	庄内	合計
保健師	38	14	15	26	93
助産師	10	1	0	6	17
看護師	15	8	8	34	65
准看護師	3	2	3	1	9
管理栄養士	6	5	4	6	21
栄養士	2	1	1	0	4
歯科衛生士	13	3	9	0	25
合計	87	34	40	73	234

年齢構成 (平均年齢 69歳)

年齢階層別	人数
40歳未満	0
40～49歳	4
50～59歳	23
60～69歳	113
70～79歳	71
80歳以上	23
合計	234

お知らせ

第64回山形県国保地域医療学会は、10月28日(土)10時からホテルメトロポリタン山形で4年ぶりに開催
 予定です。メインテーマは「ポスト・コロナを歩む ～新たな時代の扉を開いて～(仮)」。
 開催案内を通知しますので、皆様の御参加をお願いします。

会員募集

入会費・会費無料

あなたも 楽しく活動してみませんか?

今までの専門職としての経験を、
 自分の住んでいる地域の健康づくりに
 役立てましょう。
 お知り合いの方にぜひ御紹介を
 お願いします。

申し込み、問い合わせは、事務局連絡先まで

事務局

〒991-0041
 山形県寒河江市大字寒河江字久保6番地 国保会館内
 山形県国民健康保険団体連合会 事業課保健事業係
TEL 0237-87-8002
FAX 0237-83-3353

印刷 コロニー印刷